

アカデミーかわら版



🍏フェスタ'14 特集！！



11月15、16日の「フェスタ'14」は天気にも恵まれ、無事終了しました。今回は来場者の実態を知るためのアンケートも実施しその結果、来場者合計270名（両日）、特に基調講演の「ちきゅう」探査船は150名と大盛況で、フェスタ de コンサート、古本市、環境とみどり講座・WSの展示などにも多くの方が来場されました。受講中の方が知り合いや家族を連れてこられたのも目立ちました。

古本市の売り上げとフリーマーケットの参加費などは「広島市 8・20 豪雨災害義捐金」とさせていただきます。

基調講演

「地球深部探査船『ちきゅう』と地球生命の謎」

今回は、海洋研究開発機構所有の地球深部探査船「ちきゅう」が海底の地中深くに発見したメタンを合成する微生物の話。地震などで多量の水素が発生するのをじっと待っていて、その水素と炭酸ガスからメタンを生成する。将来は炭酸ガスを海底に埋める技術を利用しメタンという資源として取り出すことも考えられるとのこと（先生の夢）。埋蔵資源小国の日本に住む私たちにとって大変希望に満ちた明るいお話でした。入場者数150人で会場満員の大盛況でした。



中原文化協会の生け花でお出迎え

大学生の見た「フェスタ'14」(1)

今回の「フェスタ'14」では大学連携事業の一つとして大学生4名が2日間にわたりビデオや写真を撮ったり実際に体験するなどの取材をしました。大学2年生と言えば青春まっただ中の二十歳！！約3~4倍の人生経験を持つ受講生が企画した「フェスタ'14」についてどのような感想を持ったか聞いてみました。インタビューに答えて下さったのは、専修大学ネットワーク情報学部2年生山下紗世さん、井口拳さん、佐野蔵太郎さんです。

まず第一印象は「ぜんぜん楽しいです！」。成果発表の展示が中心ですがやっている人たちが一生懸命やっているのが良く伝わってきたし、来場者も楽しそうに参加していて「いい感じ」。環境、科学関係の展示や実験、討議、音楽の演奏、芸術関係などレベルが高く感心したそうです。音楽演奏では最新の『アナ雪』を聞いてびっくり（笑）して素晴らしさに感動。熟議では「学生なら遠慮してあんなにはっきり意見を言わないし、出席者がまんべんなく発言しているのでびっくり」と周囲に気を遣う今時の若者気質との違いを指摘してくれました。

(2)に続く



科学 WS

♥「キュリー夫人ってどんな人？」

★こども理科実験教室

「結晶を作ってみよう！」

♥吉祥瑞枝博士の講演で、「キュリー夫人」の名前に思いを興すも、女性初のノーベル賞、放射能程度の見識でした。家族が皆科学者で交友関係も一流の科学者が多くその偉大さを実感しました。夫人が子供を対象にして「理科教室」を行っていた事は夫人の科学に対する関心の強さを感じました。

今般いろいろ騒がしい「放射能」ですが、キュリー夫人の功績を生かし、医学を含む各方面での発展を期待したいです。
(樽林昌治)

★プラザ近隣の小学生9名が参加しました。尿素を溶かした水溶液が針状の結晶個体に変化する過程を色を付けて観察する実験と、試験管の中のシロップ水が過冷却状態になると一瞬でアイスキャンディーへ相転移する様子を見てそれを食べる実験(?)でした。子供たちもサポーターも付き添いの親も、共に楽しんだ理科教室でした。
(倉本明)



まち歩き WS



「歩いて識ろう川崎再発見
-黒川,よこやまの道を歩く-」

2014年11月7日、参加者24名、世話人他9名。

はるひ野駅に集合して、秋晴れの多摩のよこやまの道を歩きました。色づき始めた林のなかを、豊富などんぐりを踏みしめて登り、



「防人の峠」からは、万葉の歌を聴きながら丹沢連峰、秩父連山などを見渡しました。尾根を下ると、そこは谷戸の里山。「ここが川崎？」と思わず声に出してしまうなつかしい田園風景が広がっています。たわわに実るたくさんの柿の木、田んぼには、刈り取られた稲が掛け干しされていました。みなさん思わず「里の秋」「ふるさと」などを口ずさまれたでしょう。

最後に、黒川駅のそばにある「セレスモス」で、秋の実りをリュックにいっぱい買って、帰りました。(T.T)



大学生の見た「フェスタ'14」(2)



皆さん自宅通学でご両親はまだ現役世代。祖父母は近所において普段から地域のパソコン教室や体操教室にいらしているそうで自治体の行う学びの場がある事はご存知でした。でもその現場を実際に見るのは初めてだったのではないのでしょうか。感想を聞きました。

「今は就職する事を念頭に勉強しているので退職した後の事はまだ考えたことはないけど退職してからも勉強をしようという意識の高さは凄い」「自分の老後(?)の選択肢の一つとして考えてもOK」「こんな感じのことが元々好きできっとやると思うから未来の自分の姿を見ている感じがする」という言葉を聞くと俄然自信がみなぎってくるではありませんか！インタビューへのご協力ありがとうございました。



魔法のワークショップ入口



カリグラフィー



ポップリ



桃の里写真展



環境とみどり講座・WS



- ・「受講生のお宝・趣味・地域での活動ぶり」特集！
- ・「縄文海進」MAP 床面展示

今年は床一面に縄文時代の川崎の海岸線が分かる「縄文海進」の地図を展示。また、「地域での活動ぶり」のコーナーでは、「久末緑地」、「グリーン・コミュニティー・グループ」、「元気な川崎を知ろう」、「川崎フューチャネットワーク」、「中原まちづくり」、そして昨年も好評だった「省エネ体験コーナー」、「おカ：海岸林再生第3次 pit 報告」を展示。受講生のお宝・趣味コーナーでは、「54 回の海外旅行」の写真、外来種の蝶分布と蝶の標本、「フォト俳句三昧」、お皿への絵付け作品、「東海道完歩挑戦記」など。来場者数は、1 日目 65 人、2 日目 50 人の計 115 名(内受講生が約 7 割の 75 名)



政治・社会 WS

- 展示：「熟議デモクラシーの様々な形」
- 模擬熟議：「リニア計画を考える」

政治・社会 WS 企画の「模擬熟議」は、川崎市の地下も通過するリニア新幹線計画をテーマに行いました。最初に計画について知っていることを全体で出し合い、グループで賛否の理由やゲストへの質問などを話合いました。鉄道史の老川慶喜先生、ジャーナリストの天野捷一さんの情報提供のあとは、様々な論点（経済性や利便性、エネルギーや環境・・・）から全体討論。活発な議論が行われました。まとめでは、「参加して考えが変わった」人が半数弱、「新しい知識が得られた」人が 8 割超。「計画に反対」に多数、「賛成」、「どちらでもない」に数名ずつの手が上がりました。



音楽と朗読のひととき



能楽と面



東京駅散策と江戸の食事



古本市、来年のフェスタ実行委員長(?)



芸術 WS 油絵展示と切り絵

◆2015年度前期 「受講生募集」チラシ、「講座のご案内」パンフレット ただ今制作中！



「講座のご案内」パンフレット

今年も残すところあと1か月足らずとなりました。

来年の事を言えば鬼が笑うと言いますが、アカデミーでは早くも来年4月から始まる講座の準備に取り掛かっています。

皆さんのお待ちかねの「講座のご案内」パンフレットは、1月9日（金）午後から配布する予定です。アカデミー講座・WSでも配布致します。

またその他市内公共施設、専用ラックには1月20日以降に配架します。

チラシが置かれていない間は専用ラックには、「アカデミーたより」が置いてあります。今回の「アカデミーたよりNo.3」はデザインから受講生の佐藤貴美さんが作成してくださいました。

川崎市内の朝日新聞1月11日の朝刊を中心にして新規受講生向けのチラシを折込みいたします。

●「講座のご案内」専用ラック設置場所

- ・図書館：(川崎・中原・高津・多摩・麻生)
- ・市民館：(中原・高津・宮前・多摩・麻生)
- ・幸文化センター・国際交流センター
- ・川崎市アートセンター



「かわさき市民アカデミーたより」



「受講生募集」チラシ

アカデミー予定表 2014.12/8 現在



2014年12月予定表		
日	曜日	行事予定
8	月	かわら版12月号配布開始
15	月	第6回理事会
17	水	運営代表世話人会議
25	木	事務局大掃除
26	金	仕事納め
27	土	事務局閉室 ~1/4
2015年1月予定表		
日	曜日	行事予定
5	月	仕事始め
9	金	2015年度前期受講申込み開始
11	日	「受講生募集案内チラシ」新聞折込み
19	月	19日~26日(公開講座)
20	火	説明会(川崎市生涯学習プラザ)
21	水	説明会(麻生市民館)
27	火	説明会(高津市民館)
28	水	説明会(中原市民館)
		2月5日(木)説明会(塚越中学校)

〈編集後記〉

◆今月は予定を変更して〈フェスタ特集〉になりました。講座・WS関連の参加団体から報告や感想などを書いて頂き盛りだくさんの内容になりました。

◆普段やっている音楽活動のご披露や、カリグラフィー、ポップリ、能面展示・能講座などでは受講生が講師となって頂いたり、近隣地域の方々など本当に多くの方にご参加頂きました。

◆熱心にごみていただいた専修大学の学生さんにフェスタ'14がどんな印象だったか感想が聞けたのは初めてでしたがとても励みになりました。

◆学生さんたちはとても礼儀正しい今時の若者たちでしたので、やはり相当気を遣った上での発言だったのでしょうか。でも、フェスタ楽しかったです。年末年始、楽しく過ごしましょう。(t)

発行：NPO 法人 かわさき市民アカデミー
アカデミーかわら版編集委員会

連絡先：TEL：044-733-5590
メール：info@npoademy.jp
NPO ホームページ <http://npoademy.jp>